



こども食堂に遊びに来てください

☎ 伊奈庁舎社会福祉課 (内線4105)、市社会福祉協議会 ☎0297 - 57 - 0205

10月から市内5カ所でこども食堂がオープンしました。

こども食堂とは

市と社会福祉協議会が協働し、ボランティアの皆さんのご尽力で月に1回食事の提供を行うものです。こども食堂は地域の子どもから大人まで幅広い世代が集まることができる場所として、多世代交流や見守り合える場、子どもがさまざまな経験をし、学ぶ場となることが期待されています。

現在は新型コロナウイルス感染予防のため、会場での食事に代えて手作りのお弁当の提供となっていますが、多くの皆様のご利用をお待ちしています。

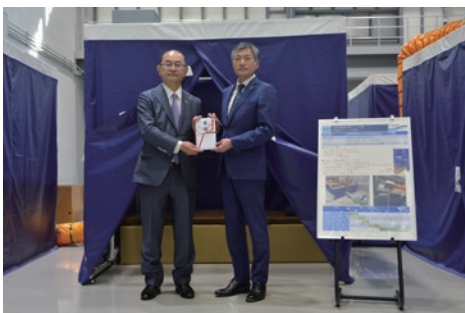
開催場所・日時については、社会福祉協議会にお問い合わせください。



手作りのお弁当を受け取る子どもたち



感染症対策を行いながら提供しています



目録を手にする高砂熱学工業(株)の小島代表取締役社長 COO ④と小田川市長④

近年、自然災害が増加傾向にある中で、災害時の避難所での社会的距離の確保や、換気などの感染症対策が課題となっています。



災害時避難所用コロナ対策空調換気ブース

小田川市長は「高齢の方や感染が疑われる方が安全に避難生活を送れるかが課題だった。今回寄贈いただいたブースは、そうした要配慮者に対し非常に有効であり、有事の際は活用したい」とお礼を述べました。



災害時避難ブースを寄贈いただきました

☎ 伊奈庁舎防災課 (内線2502)

高砂熱学工業(株) (小島和ひと) 代表取締役社長 COO ④ から市に、同社が開発した「災害時避難所用コロナ対策空調換気ブース」を寄贈いただき、12月4日に寄贈式が行われました。これは、市と高砂熱学工業(株)が昨年8月に締結した「みらい都市」の実現に向けた包括連携協定の取り組みの一環で寄贈されたものです。

今回寄贈いただいた「空調換気ブース」は6ブース(部屋)が1セットとなっており、プライベート性の確保はもちろん、ブース内部の感染リスクの低減や、スポットクーラーを用いた快適性の確保も可能となります。